

multimedia dance piece

"QWERTY"



Yuzo Ishiyama / A.P.I.

contact : mail@info-api.com / <http://www.info-api.com>

about "QWERTY"

マルチメディア・ダンス作品

2006年、東京・新国立劇場にて初演（2007年バージョンアップ）。

現代のデジタルテクノロジーの一般化による、我々の「選択肢」の拡大。
その過程での戸惑い／躊躇、身体性の再認識をめぐる作品。

ここには、身体をデジタルメディアと同一線上のものと捉える視点が確実にある。
また情報伝達のインターフェイスとしての身体的重要性が、現代において浮上しているのではないのか、という問いかけも作品中に貫かれている。

本作品は、全ての要素が一体となったディレクションが好評を博している。

「QWERTY」に於いて、映像、音楽、照明、そして身体は等しく「パフォーマー」なのだ。

2006年9月 "Dance Exhibition 2006" 招聘 (於・新国立劇場)

2007年10月 デジタルアート・フェスティバル "Bains Numériques #2" 招聘
(アンギャン・レバン/フランス)

2008年10月 ダンス・フェスティバル "FID 2008" 招聘 (ベロ・オリゾンチ/ブラジル)

2008年10月 SESC SP 招聘 (サンパウロ/ブラジル)

2008年11月 ダンス・フェスティバル "Panorama Festival 2008" 招聘
(リオ・デ・ジャネイロ/ブラジル)

コンセプト/ディレクション：石山雄三

サウンド：熊地勇太

ビジュアル：sakura (exe+)

ライティング：RASA Design Production

コスチューム：ROCCA WORKS

テクニカル・ディレクター：遠藤 豊 (LUFTZUG)

振付/出演：上田 創、渡辺理恵子、宮尾安紀乃、石山雄三

Special Thanks to :

深井三実、笠井瑞丈、上月一臣

初演：2006年9月18日 於・新国立劇場

コンタクト：mail@info-api.com

phone + facsimile (03) 3408 4222

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-24-4-301

"QWERTY" at New National Theatre Tokyo 2006



photo : Yohta Kataoka

"QWERTY" at New National Theatre Tokyo 2006



photo : Yohta Kataoka

"QWERTY" at festival "Bains Numériques #2"

Enghien-les-Bains / France 2007

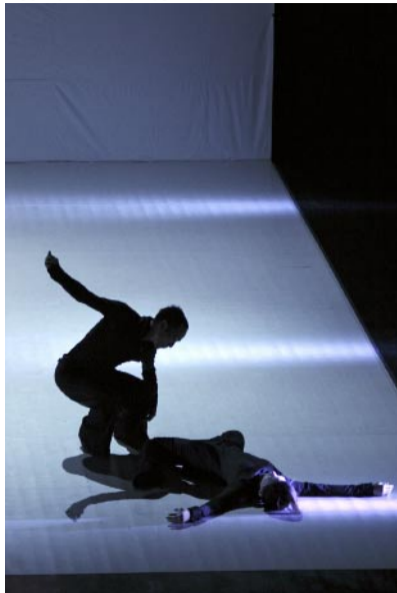


photo : Yohta Kataoka

"QWERTY" at festival "Bains Numériques #2" Enghien-les-Bains / France 2007



photo : Yohta Kataoka

"QWERTY" at festival "Bains Numériques #2" Enghien-les-Bains / France 2007



photo : Yohta Kataoka

"Danser" (フランスのダンスマガジン) 2007年10月号

■

*Yuzo Ishiyama <un des enfants du groupe pionnier Dumb Type en quelque sorte.
Les Japonnais sont moins dans la représentation. Ce n'est pas tant le geste que tout ce
qui est autour, le graphisme du projet qui compte. Ils apportent vraiment une nouvelle
lecture à travers les matières sonores et visuelles.>*

interview de Dominique Roland Par Philippe Noisette

■

<日本語訳>

石山雄三は言うなれば先駆者である Dumb Type の後続くアーティストの一人である。この日本人の作品は「表現」することに拘泥している訳ではない。ここでは、形式的な意思表示やそれに類するものではなく、プロジェクト全体のデザインというものが重要なのである。彼の作品は視覚的なものと聴覚的なものを通して、(ダンスに) 全く新しい解釈をもたらしているのである。

(Dominique Roland インタビュー / Philippe Noisette 著)

"La Terrasse" (フランスのアートマガジン) 2007年10月3日号

■

Au Japon, pays porteur d'une culture tournée vers le numérique, la danse ne rime plus forcément avec butô. C'est ce que prouve également le collectif A.P.I. avec Qwerty, performance danse et multumédia qui déploie l'espace au rythme d'une installation spectaculaire.

■

<日本語訳>

デジタル技術に文化そのものが傾倒している日本では、もはやダンスは舞踏だけのことではない。その事実は Qwerty でコレクティブ A.P.I. が証明することであり、その作品には、ダンス・パフォーマンスと目を見張るようなインスタレーション空間を作り出すマルチメディアがあるのだ。

CDA ウェブサイト (http://www.cda95.fr/newsletter/07_12_03/Journal24.pdf)

by Andrea Davidson (振付家、マルチメディアアーティスト)

■

"Qwerty" de Yuzo Ishiyama se déroule lui aussi dans une esthétique dénudée aux tons noir et blanc mais ici, un décor infographique savamment allié à la régie lumière et à la bande son, crée des ambiances aux échos technologiques. Quatre danseurs vêtus de noir occupent le plateau. Le gestuel privilégie la verticalité et respecte une rigueur de la forme chorégraphique.

Nous sommes cependant loin des spectacles encore plus tendance multimédia d'autres compagnies japonaises telles Dumb Type.

Malgré une lecture possible de la mise en scène comme faisant allusion au monde technologique, la danse prime et une certaine poésie règne ; notamment dans le long et étrange solo du chorégraphe qui incarne une sorte de fou errant contemporain. L'image du chorégraphe, le bras gauche tendu devant lui pendant ses déambulations et piloté par quel mystérieux impératif intérieur on ne sait pas, restera gravée dans l'esprit après le spectacle.

■

CDA ウェブサイト (http://www.cda95.fr/newsletter/07_12_03/Journal24.pdf)

by Andrea Davidson (振付家、マルチメディアアーティスト)

<日本語訳>

石山雄三の“Qwerty”も白と黒の装飾のないシーンから始まる。だが、ここではインフォグラフィックで表わされた舞台美術が巧妙に照明装置と音楽に結びつけられており、テクノロジー的な響きを含んだアンビエンスを作っている。

黒い衣装の4人のダンサーが舞台に立つ。「振り」は垂直を強調し、厳密な振付のフォルムがある。しかしこれは、Dumb Typeのようなマルチメディアへの傾倒を強く表わしているようなカンパニーとは、またかけ離れた作品である。

この作品は演出意図としてテクノロジー社会へ言及しているのだろうが、ダンスは作品の中心に位置し、ある詩情が現れる。特に、ある種、現代的な放浪する狂人を体現している振付家の長く不可思議なソロがそうだ。さまよい歩いている時に身体の前に伸び、理解不能なミステリアスな指示によって操られる左腕、その振付家のイメージが上演後も観客の脳裏に残るのだ。

"Jornal do Brasil" (リオ・デ・ジャネイロの新聞) 2008年10月31日号

//

O que a gente normalmente observa são os clichês de dança de cada país...

O Yuzo traz uma proposta diferente. Em vez de trabalhar com um Japão do passado, pensa em um Japão do futuro.

//

<日本語訳>

我々がよく目にするのは、それぞれの国のありがちなダンスのイメージだ。(…)

ユウゾウは別の切り口。彼は「過去の日本」でクリエイションしているのではなく、「未来の日本」で考えている。

Yuzo Ishiyama Profile



パフォーマンス・メディア・アーティスト/コレオグラファー。

サウンドやインスタレーション、そして身体の動きや映像を統合したパフォーマンスを、これまでも多数発表してきている。

ダイナミックな作品は高く評価されており、フェスティバル “dance” (ミュンヘン)、KIASMA (ヘルシンキ)、“Julidans” フェスティバル (アムステルダム) 等に招聘されている。

2006 年にはアーティスト・コレクティブ “Yuzo Ishiyama / A.P.I.” を組織。

コンピューティングやデジタルテクノロジーが「当たり前のこと」となった今の時代にフィットするような、新しい「身体表現言語」の開発を続けている。

Yuzo Ishiyama Works

- nest "Circulation Module" - 1998~ (マルチメディア・パフォーマンス作品)

- "PARK TOWER NEXT DANCE FESTIVAL 97" (東京) 招聘
- "dance 2000" フェスティバル (ミュンヘン) 招聘
- "ARS01" フェスティバル (ヘルシンキ) 招聘

- "LinkAge" - 2000~ (マルチメディア・ダンス作品。オランダのカンパニーとの共同制作)

- "Julidans" フェスティバル (アムステルダム) 招聘
- "New Zealand Festival 2002" (ウェリントン) 招聘



Mar. 2000
マルチメディア・パフォーマンス作品
"Circulation Module"
(於・Muffathalle / ミュンヘン)

Yuzo Ishiyama Works

- "SU" - 2006~ (マルチメディア・ライブアート作品)

- オハッド・フィショフとのコラボレーション版/於・P-HOUSE (東京)
- ソロバージョン/フェスティバル "Bains numeriques #2" (フランス) 招聘

- "QWERTY" - 2006~ (マルチメディア・ダンス作品)

- 新国立劇場 "Dance Exhibition 2006" 招聘
- デジタルアート・フェスティバル "Bains numeriques #2" (フランス) 招聘
- コンテンポラリーダンス・フェスティバル "FID 2008" (ブラジル) 招聘
- コンテンポラリーダンス・フェスティバル "Panorama Festival" (ブラジル) 招聘



Jul. 2000
マルチメディア・ダンス作品
"LinkAge"
(於・Paradiso / アムステルダム)